

感染症情報 12月11日～17日

府下小児科200療機関(堺市19)から

| | | |
|------------|----------|------|
| ①感染性胃腸炎 | 1469例(堺市 | 53例) |
| ②溶連菌感染症 | 586例(堺市 | 38例) |
| ③RSウイルス感染症 | 311例(堺市 | 19例) |
| ④みずぼうそう | 153例(堺市 | 7例) |
| ⑤咽頭結膜熱 | 107例(堺市 | 10例) |

府下インフルエンザ定点306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 1592例(堺市 122例)

が報告された。

感染症報告数は前週比1.8%増の2,891件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、みずぼうそう、咽頭結膜熱の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より3%増、堺市で前週より26%増であった。溶連菌感染症は府下で前週より9%増、堺市で前週より16%減であった。RSウイルス感染症は府下で前週比5%減、堺市で前週30例→今回19例であった。定点当たりで見ると、前週が1.6で、今回も1.6であった。みずぼうそうは府下で前週比42%増、堺市では前週12例→今回7例であった。咽頭結膜熱は府下で前週より10%増、堺市で前週4例→今回10例であった。

インフルエンザは府下で前週817例→今回1592例で95%増、堺市では前週47例→今回122例(2.6倍)となった。定点当たりでは前週が2.7で、今回は5.2となった。

麻疹や風疹の報告はなかった。